イ　希望信号の周波数を中心として上下にそれぞれ一〇kHz離れた二波の隣接信号の存在による性能の劣化は搬送波電力対雑音電力密度比に換算して〇・一デシベル以内であること。ただし、隣接信号は、希望信号と同様のもの（毎秒八、〇〇〇ビットのランダムデータで変調された帯域制限されたO－QPSKとする。）であり、それぞれ希望信号より六デシベル高いものとする。

㈣　無線電話による通信を行う場合は、次の条件に適合すること。

(1)　㈢の(1)、(3)、(4)及び(5)の条件に適合すること。

(2)　受信信号は、次のとおりであること。

ア　1の㈣の(2)のア及びイの条件に適合すること。

イ　伝送速度は、毎秒八、〇〇〇ビットであること。

(3)　音声符号化は、IMBE方式であること。

3　空中線等

㈠　軸比は、最大指向方向において二デシベル以下であること。

㈡　空中線は、通常起こり得る船舶の動揺、船舶の航行及びインマルサット人工衛星局の位置変動においてインマルサット人工衛星局を自動追尾できること。

㈢　レドームは、付着する水分及び塩分等による特性の劣化ができる限り少ないこと。

㈣　追尾する衛星の方位角に対応する空中線の位置情報を、(ロ)　五度以内の誤差で周期的に検出する手段を備えていること。

4　電磁干渉

第一の二の4の条件に適合するものであること。

第三　インマルサット船舶地球局のインマルサットF型の無線設備

［一　同上］

二　電気的条件

1　送信装置

［(一)～(三)　同上］

㈢　無線電信による通信（呼出し及び応答を行うためのもの並びに無線高速データによる通信を除く。）を行う場合は、変調方式は二の直交するチャネルの入力信号（以下「Iチャネル」及び「Qチャネル」という。）に対し、次の相対位相関係を有する帯域制限されたオフセット四相位相変調（Qチャネルの入力信号をIチャネルの入力信号に比べて二分の一シンボル遅らせた四相位相変調をいう。以下「O－QPSK」という。）であること。

Iチャネル	Qチャネル	相対位相
一	一	(+)　四五度
〇	一	(+)　一三五度
一	〇	(−)　四五度
〇	〇	(−)　一三五度

第二　インマルサット船舶地球局のインマルサットF型の無線設備

［一　略］

二　電気的条件

1　送信装置

［(一)～(三)　略］

㈢　無線電信による通信（呼出し及び応答を行うためのもの並びに無線高速データによる通信を除く。）を行う場合は、変調方式は二の直交するチャネルの入力信号（以下「Iチャネル」及び「Qチャネル」という。）に対し、次の相対位相関係を有する帯域制限されたオフセット四相位相変調（Qチャネルの入力信号をIチャネルの入力信号に比べて二分の一シンボル遅らせた四相位相変調をいう。以下「O－QPSK」という。）であること。

Iチャネル	Qチャネル	相対位相
一	一	(+)　四五度
〇	一	(+)　一三五度
一	〇	(−)　四五度
〇	〇	(−)　一三五度